

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSHIP (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025/10/1		2025/10/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025/10/1		2025/10/31
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025/12/4		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	人数に対し手厚い体制をとっている。	児童2名に対し、1名の職員が担当するよう体制をとるようにしている。	今後も継続して体制を維持することができるよう取り組んでいく。
2	活動スペースが確保されている。設備を順次整えている。	適宜児童が活動するスペースの見直しを行っている。必要に応じて拡大を行う。	今後も活動スペースの見直しや、必要に応じた拡大を行う。
3	個別療育を専門的にやっている。	研修を行い、職員の専門性が維持できるよう取り組んでいる。また、個別支援計画と個別活動等の接続がスムーズになるよう取り組んでいる。	今後も継続して専門性を維持できるよう研修を継続的に行う。また、各活動の実施方法などすべての職員が理解し、実施できるような体制を構築する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設との交流が少ない。	保育園等の交流はできているが、他の児童発達支援、放課後等デイサービス事業所との交流、やり取りをする機会がなかった。	積極的に連絡を取り合い、交流できる内容を検討していく。
2	事業所の運営マニュアルや書類の精選については今後の課題である。	必要な書類と減らしていく書類の精選が行えていない。	今後各資料を体系的に管理をすることができるよう。フォルダ階層や採番などを整えていく。規程集等も合わせて揃えていく。
3	交流会等開催をしているが、なかなか参加率が低い	毎回テーマを設けるなど工夫をしているが、参加は1~4組である。	実施の日時や方針、内容などを適宜見直ししながら、多くの保護者が参加をすることができるよう取り組んでいく。